

## 一般質問（文書質問）

議員名 鈴木 聖二

### <質問項目>

今後（新型コロナウイルス感染症拡大後）の市政運営について

- 1 財政運営について
- 2 事業実施について
  - (1) 佐原駅周辺活性化拠点整備事業について
  - (2) 橘ふれあい公園整備事業について

### <質問内容>

- 1 財政運営について

新型コロナウイルス感染症の蔓延により国は「緊急事態宣言」を発出し、感染拡大防止に全力で取り組んできました。その結果、さまざまな施策が経済活動に多大な影響を与え、日本経済は大きく落ち込んでいます。その対策を実施するため補正予算を組み経済対策を行っています。国の借金は1,114兆円超とされている上に、25兆円の第1次補正予算も赤字国債で賄われます。更に、第2次補正予算も検討されており、国の財政悪化が懸念されます。

一方、香取市においても飲食業や物販業、観光業、農業などさまざまな職業・職種で多大な経済的打撃を受けています。

このような状況の中、2点質問します。

国の厳しい財政状況や新型コロナウイルス感染症が香取市の財政にどのような影響を与えるのか市の考えを伺います。

また、市の財政が影響を受ける期間はどのように想定されるか、ご答弁を求めます。

## 2 事業実施について

### (1) 佐原駅周辺活性化拠点整備事業について

- ① 佐原駅周辺活性化拠点整備事業は、予算額3億9,004万7千円が計上されています。その事業内容はどのようなものか伺います。
- ② 本事業を予定通り実行するのかお聞きします。

### (2) 橘ふれあい公園整備事業について

橘ふれあい公園整備事業について質問します。

- ① 3億937万3千円が予算計上されていますが、その事業内容を教えてください。
- ② 本事業内容を予定どおり実行するのかお聞きします。

## <答弁内容>

### 1 財政運営について

新型コロナウイルス感染症対策等により、中小企業などに影響が出ており、そのため、市税収入や各種譲与税・交付金などの減少が懸念されます。

また、影響を受ける期間については、新型コロナウイルス感染症が収束するタイミングにより変わってきますが、相当な期間、影響を受けると考えられます。

【総務企画部】

## 2 事業実施について

### (1) 佐原駅周辺活性化拠点整備事業について

① 今年度予算の主なものといたしましては、施設整備工事費として3億7,837万円を予算計上しており、内容としましては、実施設計業務、建設工事、工事監理、各種調査業務を予定しております。このほか、設計等業務委託料として、施設整備に伴うCM業務委託約1,100万円などを予定しています。

② 本事業は、昨年12月に入札公告を開始し、5月15日を入札書及び技術提案書の提出期限としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、入札参加を予定する事業者において、技術提案書の作成や入札金額の検討に支障が出ていることから、6月15日まで、1カ月の期間延長を行いました。

今後につきましては、スケジュール変更等は想定されますが、予定どおり事業を進めてまいりたいと考えております。

【総務企画部】

## (2) 橘ふれあい公園整備事業について

① 今年度予算の主なものといたしましては、工事請負費2億8,203万8千円を予算計上しており、内容としましては、体験学習施設の外構整備、駐車場の整備、第2工区の造成、管理用道路の整備などを予定しております。

このほか、設計等業務委託料として、昨年度から継続している公園の整備・管理運営における民間事業者の募集及び選定等に係る支援業務の委託費2,732万円などです。

② 本事業は、令和3年度から民間事業者による整備等を予定しているため、市が整備を行う施設等については、予定どおり進めてまいりたいと考えております。

【建設水道部】

一般質問（文書質問）（再質問）

議員名 鈴木 聖二

<質問項目>

今後（新型コロナウイルス感染症拡大後）の市政運営について

- 1 財政運営について
- 2 事業実施について
  - (1) 佐原駅周辺活性化拠点整備事業について
  - (2) 橘ふれあい公園整備事業について

<質問内容>

1 財政運営について

- ① 誰もが経験したことのない新型コロナウイルス感染症なので、今後どのように推移するのかわかりません。

幸いにも有効なワクチンや治療薬が開発されたとしても、新型コロナウイルス感染症を根絶させるには、数年単位の長い時間が必要とされています。

今の状況でも、日本の経済が以前のような状態に戻るには少なくとも3年以上かかるとの報道もあります。

新型コロナウイルス感染症が長引けば、影響は更に長く、大きくなります。

香取市も厳しい経済状況及び財政状況もしばらくの間続くものと覚悟して対応する必要があると考えます。

厳しいと想定される香取市の経済状況や財政状況にどのように対応していくのか、また令和3年度の予算にどのような影響があると考えておられるのか伺い

ます。

- ② 香取市では独自の支援策として「市内中小企業への支援」「子育て世代への支援」「妊産婦への支援」が実施されました。

国の第1次補正予算に引き続き第2次補正予算が閣議決定されました。

第2次補正予算で香取市に交付される地方創生臨時交付金の金額は、どの程度を想定しているのか伺います。

また、第1回目の支援策では、国の交付金約3億円に市独自に財政調整基金から約1億円を加算して実施されました。

第2回目も同様に行われますか。行われるとしたらその財源名と金額を教えてください。

- ③ 第1回目の市独自の支援策では、県内の多くの自治体が独自の支援策を公表し報道されても、香取市はなかなか発表がありませんでした。市民の方々から「なぜ独自の支援策を発表しないのか」「独自の支援策は行わないのか」などの意見が寄せられました。

国の第2次補正予算で交付される地方創生臨時交付金等を財源として、市はどのような独自の市民支援策を実施するのかご答弁ください。

## 2 事業実施について

### (1) 佐原駅周辺活性化拠点整備事業について

「新型コロナウイルス感染症の影響により入札書等の提出が1ヵ月間延長されたが、今後はスケジュール変更等は想定されるが、予定通り事業を進めていきたい」とのご答弁がありました。

誰も経験したことのない感染症ですから、これからどのようになるのか分かり

ません。感染が拡大するのか、収束方向に向かうかによってご答弁内容は異なると思いますが、今の状況では新型コロナウイルス感染症が本事業に及ぼす影響は、事業の実施を左右するほど大きくはない、という判断でしょうか。

緊急事態宣言は解除されたとはいえ、いつまた再宣言が発令されるか予断を許さない状況が当分の間続くと思われまます。

また、第2波、第3波の襲来も懸念されています。

新型コロナウイルス感染症が続くとなれば、本事業の継続にも大きな影響を与え、事業の延期や変更という事態も十分に考えられます。

その場合、本年度の実施に要した費用が無駄になる可能性があります。

- ① 香取市において独自の支援策を実施していますが、まだ充分とは言えません。本施設は、必要な施設ですが緊急に整備されなければならない施設ではありません。

いま、複合公共施設を整備することより、市民の生命や暮らしを守るための市民支援策を実施することが極めて重要であり、何よりも優先されなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが明らかになり、市民の暮らしが元に戻り、落ち込んだ経済や厳しい財政状況が改善されるまで、本事業の実施を延期すべきと考えます。

この点について市の考え方を伺います。

- ② 本事業については昨年12月定例会において、限度額が65億7,700万円とする債務負担行為が設定されました。

既に使用した金額を合計すると事業費額は、72億3千万円になります。これだけの巨費を投じた施設が本当に今の香取市に必要でしょうか。

10年後の推計人口は60,253人、20年後は48,870人となり、施設の利用者数も減少すると想定されます。

厳しくなる財政状況をふまえ、建設費だけでなく将来の維持管理・運営費を考慮して、図書館と公民館機能に絞った身の丈にあったコンパクトな施設とすべきです。

新型コロナウイルス感染症を経験して、市民の方々は「何が大切か」という価値観も大きく変わったと思います。

今こそ、必要な機能、建設費、維持管理・運営費を考えて適切な施設規模について、市民の皆様のご意見を聞きながら見直すべきと考えます。

市の考えを伺います。

③ 本事業は、香取市で初めてのDBO方式を採用し18年間に亘り65億7,700万円を支払い続けることとなります。

18年という長期間の間には、感染症や自然災害など想定外の障害が発生し、事業の継続が困難になる場合も想定されます。

SPCを結成しない今回のDBOによる契約方式では、受託企業の倒産や破綻の危険性を伴い、事業の継続性や安定性を損なう恐れが大きくなります。リスク分担が明確化されず、市のみがリスクを負う危険性があります。

DBO方式による事業実施は変更すべきと考えます。

この点について市はどのように考えるのかご答弁を求めます。

## (2) 橘ふれあい公園整備事業について

「本事業については、予定どおりに進めていきたい」とのご答弁がありました。

新型コロナウイルス感染症は、本事業の実施の障害にはならないとの判断か

ら、予定通り進めるとのことだと思えます。

財政課では、「市税収入や各種譲与税・交付金などの減少が懸念され、相当な期間影響を受けると考えられる」とご答弁されています。

- ① 新型コロナウイルス感染症は、既に市民生活や市の経済、財政等に大きな打撃を与えています。その回復には市の十分な支援と長い時間が必要です。

今、市が最優先して行うべきことは、市民の命や暮らしを守ることであり、市民の事業継続や仕事を守ることです。

橘ふれあい公園整備事業は、新型コロナウイルス感染症の非常事態が収束するまで、また厳しさが予想される経済状況や財政状況が改善され、事業の継続が確信できるまで事業執行を停止し、市は市民支援策の実施に専念すべきと考えます。

市の考え方をご答弁ください。

- ② 次に、36ホールのパークゴルフ場整備について伺います。

パークゴルフ場整備の当初の目的は、香取市民に憩いの場、健康増進の場、来外者との交流の場を提供することでした。

地元住民や高齢者団体、競技団体等の要望により全国大会が開催できる36ホールが必要との説明でした。

しかし、事業の発注方法が変わり、パークゴルフ場は市の費用負担で整備し、民間企業が独立採算制で管理運営することになりました。独立採算の運営方式のため、市外からたくさんのお客を呼び、利益を得るために36ホールが必要との説明に変わりました。

36ホールのパークゴルフ場の整備目的が、計画当初の市民のための施設から、利益を得るための施設に大きく変わってしまいました。



まったく想像もできなかつた新型コロナウイルス感染症という未知の体験をした市民の物事に対する考え方や価値観は大きく変化しています。

市民事業仕分けでも、事業の不要・凍結を含め見直しが必要との結果が出ています。

整備にも維持管理・運営にも多額の費用が必要な36ホールのパークゴルフ場が、香取市のすべての市民にとって本当に必要かどうかを再検討し、見直すべきです。

この点について、市のご答弁を求めます。

- ③ 想像もしない新型コロナウイルス感染症が現実起こったように、台風や豪雨、地震など予期せぬ障害が発生して事業の継続が困難になる事態が生ずることは想像に難くありません。

また、市の中長期財政推計では将来の市の財政状況は、市税収入の増加が見込めない一方で、少子高齢化により扶助費や公債費など義務的経費が増大し、財政構造の硬直化の進展が懸念されるとしています。

さらに加えて新型コロナウイルス感染症により、国や市の経済や財政は更に厳しくなることが想定されます。

DBO方式により20年間に亘り、約17億8,100万円を払い続ける契約は、市のリスクが大きすぎます。

橘ふれあい公園整備事業におけるDBOによる事業方式を見直すべきと考えます。

市の考えを伺います。ご答弁のほど宜しくお願いします。

## <答弁内容>

### 1 財政運営について

- ① 令和2年度当初予算提案時にご説明しておりますが、香取市の財政状況が厳しいことには変わりはありませんので、経常経費の一層の縮減と歳入の確保に取り組んで参ります。

また、令和3年度予算についても、新型コロナウイルス感染症対策等により、中小企業などへの影響が想定されますので、市税収入や各種譲与税・交付金などの減少が引き続き懸念されます。

【総務企画部】

- ② 地方創生臨時交付金の金額については、2兆円を追加する閣議決定がなされておりますが、第2次補正予算に基づく配分方法等が示されておられません。

現在、第2弾の香取市独自支援策を検討中であります。

【総務企画部】

- ③ 感染拡大の防止と社会経済活動の本格的な回復の両立を図るべく、第2弾の香取市独自支援策につきまして、あらゆる状況を想定し、検討を行っております。

その主な支援策といたしましては、新型コロナウイルスの感染拡大が続いてしまった場合における雇用の維持や事業継続、市民生活の支援を目的とした事業、感染拡大が抑えられた場合における経済活動の回復や地域経済を立て直すことを目的とした事業、先を見据え、感染症に負けない強い地域経済構造や生活環境を構築するための事業など、様々な視点から検討を重ねております。

また、具体的な対応につきましては、第2波の到来を含めた感染状況や、国県の支援策等を注視しながら、可能な限り、市民・市内事業者にとって必要な措置を講じて参りたいと考えております。

【総務企画部】

## 2 事業実施について

- ① 佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業は、市民の皆様にとって必要な施設であると同時に、香取市のまちづくりに不可欠な都市機能でもあります。

加えて、事業の推進は新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地域経済の活性化にも寄与することから、スケジュール変更等は想定されますが、予定どおり、事業を進めてまいりたいと考えております

併せまして、現在、新型コロナウイルス感染症に対する支援策第2弾について検討を行っており、市民の生命や暮らしを守るために必要な施策、事業を実施していきます。

【総務企画部】

- ② 佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業は、これまで市民の皆様のご意見や議員の皆様のご意見を踏まえながら、規模や機能等について検討を重ねてきたもので、コスト削減も図ってまいりました。今年度につきましても関係予算、債務負担行為等の議決をいただき事業を進めているものです。

今後につきましても市民の皆様の代表である市議会において、議決をいただき進めてまいります。

【総務企画部】

- ③ 佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業は、これまで定例議会や定例議会開催に併せた全員協議会、常任委員会、市議会要請で開催された複合公共施設整備事業勉強会等において説明を行ってまいりましたとおり、DBO方式を採用し、昨年12月に入札公告を開始し、6月15日までを技術提案書及び入札書の提出期限として施工能力評価型総合評価方式の一般競争入札を実施しています。

受託企業の倒産リスクは、存在しますが、これは、DBO方式に限定したのではなく、すべての契約において、リスクが存在するものです。リスク分散の考

えから、維持管理運営に係る委託費は、各年度の四半期毎に支払うこととしており、事前に多額の委託費を支出しないこととしております。

【総務企画部】

(2) 橘ふれあい公園整備事業について

- ① 橘ふれあい公園整備事業は、市民の皆様にとって必要な施設であると同時に、香取市のまちづくりに不可欠な都市機能でもあります。

加えて、事業の推進は新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地域経済の活性化にも寄与することから、スケジュール変更等は想定されますが、予定どおり事業を進めてまいりたいと考えております。

【建設水道部】

- ② パークゴルフ場を含めた橘ふれあい公園整備事業は、これまで市民の皆様や議員の皆様のご意見を踏まえながら、規模や機能等について検討を重ねてきたものであり、パークゴルフ場は当初計画のとおり36ホールで整備したいと考えております。

【建設水道部】

- ③ 橘ふれあい公園の整備・管理運営における事業方式や事業形態については、平成30年度に行った民間活力導入可能性調査のなかで検討を行い、その結果、DBO方式が有用であると採用しました。現在、民間事業者の募集に向けて、募集要項及び要求水準書等を取りまとめているところであり、事業方式を見直す考えはありません。

【建設水道部】